

CONTENTS

- 01 ■ 令和元年度信州大学男女共同参画セミナー開催報告
- 02 ■ 女性の活躍推進企業知事表彰受賞
- 03 ■ 大学入試センター試験等における託児等利用料補助のご案内
- 04 ■ NEWS&TOPICS ■ おひさま保育園 NEWS ■ 子育てコラムリレー

令和元年度 信州大学男女共同参画セミナーを開催しました。

令和元年12月16日(月)、松本キャンパス旭会館3階大会議室において令和元年度男女共同参画セミナーを開催しました。当日は松本のメイン会場のほか、各キャンパスにも遠隔配信し、学内外合わせて97名が参加しました。



講演

『女性活躍』の前提条件： ジェンダー平等推進のグローバル潮流

講師

(特活) Gender Action Platform 理事 / 関西学院大学客員教授

おおさき あさこ

大崎 麻子 氏

講演では、「なぜ世界はジェンダー平等を目指すのか?」ということについて「普遍的価値だから」、「経済合理性に叶うから」、「サステナビリティ(持続可能性)に不可欠だから」という3つの観点に沿ってお話しがありました。持続可能な開発目標「SDGs」の4つ目のゴールである「質の高い教育をみんなに」という部分では、開発途上国での女子の就学率について、小学校高学年から中学校になると女子の割合が少なくなるのは、やる気がないためではなく、生理の開始や性暴力など、女子特有の障壁があることが要因であり、その一つ一つを取り除いて初めて男女がフェアであり、これは企業活動においても同様で、正社員として働き始めた際には男女の割合は変わらないのに、管理職になると顕著に低くなるのはなぜなのか、その要因を分析し、障壁を取り除いて初めて男女が同等に働き続けることができるということの説明がありました。

家庭や職場では男性役割と女性役割、つまり性別役割分業が構造化されており、それを温存したままダイバーシティ・女性活躍を進めると、結果的に女性だけが家庭と仕事を両立することを強化することになるため、女性活躍を推進するためには男性と女性がワークとライフを両立できるようにすることや、性別ではなく適材適所で職務を割り振ることが大切であり、男女が責任を分かち合うことがジェンダー平等を推進していく上で大切であるとお話しがありました。

真の「女性活躍」に向けて舵を切った組織・地域の特徴は、現状において意思決定、権限を持っているのは男性が多いですが、その男性リーダーがジェンダー平等は女性だけではなく男女、コミュニティ全体にとっていいものであるということを理解し、自らが旗振り役になっている組織、そしてアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)があったと気が付く男性リーダーが率いている組織であり、また「女性活躍」が経営課題として位置付けられていること、女性活躍から男女がフェアに働き評価される職場づくりへ転換していること、外部環境の変化に敏感で未来志向が強い組織であるとお話しがあり、本学が男女共同参画を推進していく上で、大変参考となる貴重な講演となりました。

濱田州博学長開会あいさつ

世界経済フォーラムが2018年12月に公表した、「The Global Gender Gap Report 2018」の中の各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数で、日本の総合スコアは0.662で順位は149か国中110位でした。この指数は、経済、教育、健康、政治の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しており、教育の分野では0.994と1に近い数値になっていますが、かなりの国が1なので、日本は65位になっています。

信州大学は教員、事務職員、技術職員、医師、看護師など様々な職種の方で構成されており、どの職種でもジェンダーに関しては何らかの課題があると思います。

ぜひ本日のご講演を契機として、ジェンダー平等を今一度考えていただき、新たな視点で見直していただければと思います。



● 質疑応答

- Q 本学のような地方大学は都市部に比べて男女共同参画が遅れがちです。何かよい施策などあればお聞かせ下さい。
- A 女性たちが中心になりながら新しいやり方を模索し、新しい雰囲気を作っていただければいいですが、女性たちだけで簡単にできるものではないので、男性リーダーの役割が非常に重要になってきます。良いアイデアを持った女性、能力を持った女性は沢山いますが、現状において様々な枠組み作りは男性が中心になっていることが多いので、そういった男性の発想を転換し、環境整備のところから女性も参画してください、と提案できるとよいかと思います。

浜野京理事ご感想

賃金格差の問題、ダイバーシティが進まない課題、人口減少など様々な社会の課題の解決策の一つに、ジェンダー視点を取り込むことが非常に重要だということがよくわかりました。ジェンダー視点を取り入れたデータに基づいた解決方法を作っていくことを、信州大学でも実行していくことが大切だということがわかりました。小さいことから男女一緒になって取り組んでいきたいと思います。



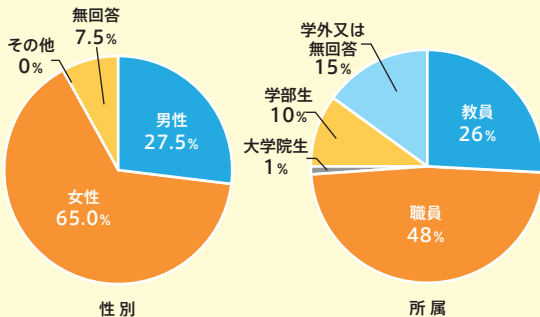
武田三男理事閉会あいさつ

大崎先生には世界的な潮流を含めてジェンダーの問題、課題に対してご講演いただきありがとうございます。信州大学ではこれまでも男女共同参画の取り組みを行っていますが、これから何ができるかを考えたとき、教育機関であることから次世代を担う学生へのジェンダー平等の教育、というところで力を発揮できるのではないかと感じました。教職員についてはジェンダーの障壁は一つ一つ地道に解決していくしかないと感じました。大変有意義な講演で、教職員の皆さんもこれからの取り組みに生かしてもらえればと思います。

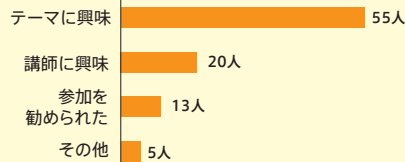


参加者アンケート集計結果 参加者 97 名、回答 80 名 (回収率 82.5%)

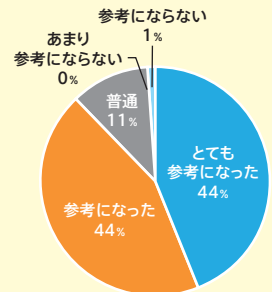
【参加者について】



【参加動機(複数回答)】



【講演内容についての感想】



【受講者の感想】(自由記載から抜粋)

- 社会の急激な変化、人口減少の進む中で女性の雇用促進、雇用の質の改善の必要性が明確に説明されて大変よく理解できた。(教員)
- 日本ではまだまだケアワークの部分で大きな課題があると再認識できた。(職員)
- 経験と実践に基づいた内容だったので、非常にわかりやすく、ためになった。(教員)
- 無意識の偏見に敏感でありたいと思った。(教員)
- 信州大学においてもこの講演を機にさらにジェンダー平等の意識が高まることを期待します。(教員)
- 「女性両立支援」ではなく「男性も女性も両立するための支援」が必要という言葉が印象的でした。(学生)

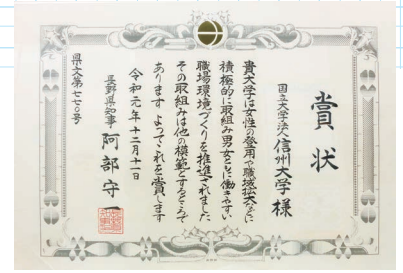


SDGsの詳しい情報は、外務省のホームページをご覧ください。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>



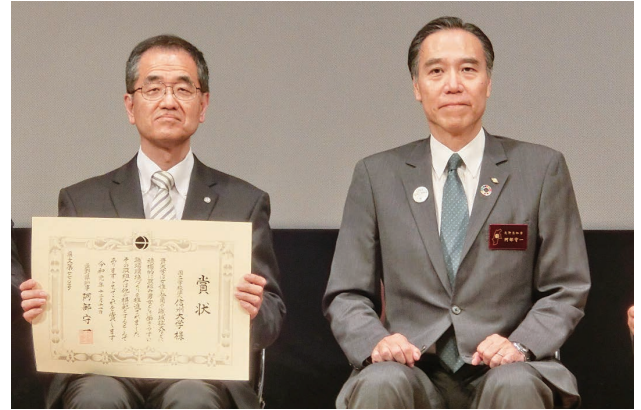
「女性の活躍推進企業知事表彰」を受賞しました

本学は、女性の登用や職域拡大に積極的な取組みを行うとともに、働きやすい職場環境づくりを行っている団体として、長野県が実施している「令和元年度女性の活躍推進企業知事表彰」を受賞しました。令和元年12月11日(水)にホクト文化ホールで開催された「長野県女性活躍推進トップセミナー」において表彰式が執り行われ、阿部守一長野県知事から濱田州博学長へ表彰状が授与されました。



評価のポイント

- 「女性教員比率向上のためのポジティブアクション」を導入し、採用における評価が同等と認められた場合には、女性を採用している。
- 平成28年度から2名の女性を役員に登用したほか、女性管理職候補養成のための研修を実施するなど、女性リーダーの輩出に取り組んでいる。
- 「男女共同参画推進センター」を設置し、全構成員が働きやすい職場環境の整備を積極的に進めていることから、今後も持続的な取組みが期待できる。



表彰状を手にする濱田州博学長(左)と長野県阿部守一知事(右)

取り組み事例

- 1 女性研究者の積極的採用
- 2 女性管理職の目標比率を定めた積極的な登用
- 3 役員への女性の登用
- 4 女性管理職候補者養成のための女性リーダー研修の開催
- 5 女性の活躍推進のための組織(男女共同参画推進センター)の設置
- 6 メンター制度の実施
- 7 意識啓発活動(男女共同参画セミナー・男女共同参画講義)の実施
- 8 早出遅出勤務の取得範囲拡大
- 9 ノー残業デーの実施(毎週水曜日)

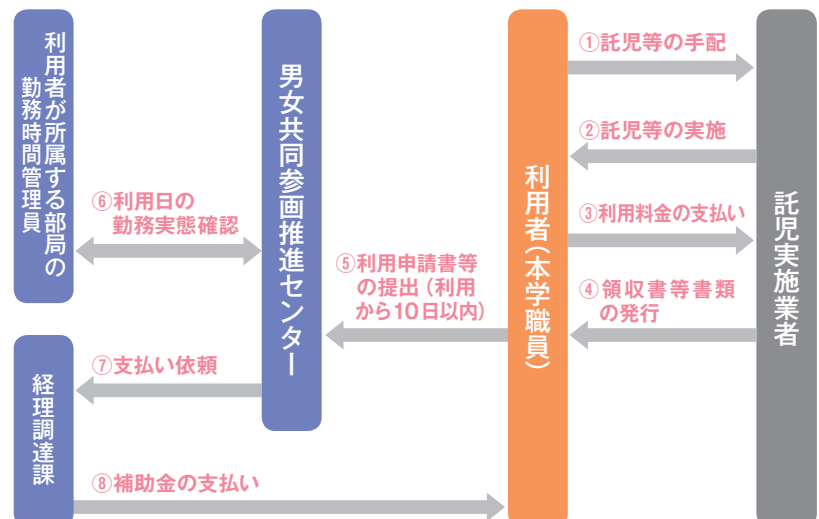
これからも信州大学の女性教職員がより活躍できる取り組みを進めてまいります。

伊那キャンパス・上田キャンパス 大学入試センター試験等における託児等利用料補助のご案内

男女共同参画推進センターでは、大学入試センター試験や、日曜祝日に実施される個別試験の際に、松本キャンパスおよび長野(教育)キャンパスで一時保育を実施していますが、今年度から伊那キャンパス、上田キャンパスに所属する教職員が、大学入試センター試験業務や、日曜祝日に実施される試験業務に従事するために、託児やファミリーサポート等のサービスを利用した場合の利用料金の一部を補助する制度を実施します。利用を希望する方は学内通知または男女共同参画推進センターホームページの案内をご確認のうえ、お申込みください。

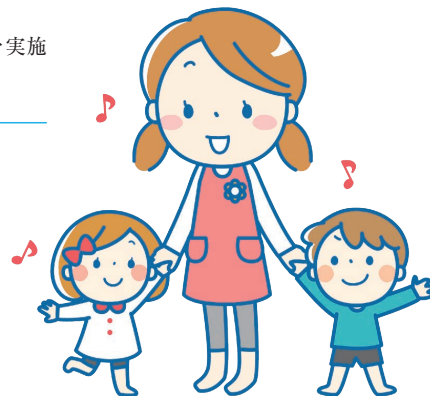


<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/concerned/2019/12/post.html> (学内限定)



教育学部推薦入試で一時保育を実施

11月23日(土・祝)に教育学部内において、一時保育を実施しました。教職員4名(子ども5名)の利用がありました。



令和2年度研究補助者制度利用者募集 一告知一

1月15日(水)から令和2年度(4-9月期)研究補助者制度の利用者の募集を開始します。詳細は男女共同参画推進センターのホームページをご確認ください。

令和2年度も男女共同参画に関する講義を開講します。

令和2年度も男女共同参画推進センター主催で、男女共同参画講義を前期水曜日5限目に開講する予定です。来年度も多彩な講師陣をお招きしたオムニバス形式の講義を予定し、男女共同参画に関する知見を深めることに寄与してまいります。

おひさま保育園 NEWS

毎年恒例のクリスマス会。今年もサンタクロースが大きなプレゼント袋を持って登場しました!大喜びではしゃぐ子どももいれば、びっくりして泣いてしまう赤ちゃんも。最後には子どもたちから歌のプレゼント♪とっても楽しいクリスマス会となりました♡



子育て コラムリレー Column Relay 第15回

このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

我が家は昨年3月に待望の息子が誕生しました。初めての子育てで毎日が戸惑いの日々ですが、息子の笑顔のために頑張っています。妻が現在育休中のため、日中はほぼ妻に任せっきりですが、早く帰ることができた日は息子と一緒に風呂に入ることが楽しみです。

最近、ハイハイやつかまり立ち、つたい歩きなどをするようになってますます目が離せなくなってきましたが、その成長を見ることもまた楽しみとなっています。食欲が旺盛で、妻が作った離乳食をこぼしたり汚したりしながらですが、ほとんど全部平らげてしまいます。リンゴが大好きで、丸かじりをしている姿がとてもかわいいです。



さとう こういち 佐藤 幸一 先生 | 医学部附属病院 消化器内科 医員



家族構成

妻、息子(9か月)

あなたのリラックス方法は?

家族三人でお出かけ

昨年の夏は休みをいただいて3人で初めての旅行に行ってきました。その中でも成長を感じたことが印象に残っています。

まだまだ新米パパですが、今後も妻と協力しながら子育てを続けたいと思います。



次回はコチラ!

高橋 芳之先生

医学部附属病院 消化器内科 医員

お問い合わせ

信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室
〒380-8544
長野市西長野 6-口
内線 831-4018

工学部分室
〒380-8533
長野市若里 4-17-1
内線 821-5693

農学部分室
〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120

繊維学部分室
〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5031

信州大学 スフレ

検索